

2018年(平成30年)3月10日(土曜日)

石巻市内
12カ所目

発達障害児童生徒の得意伸ばす

湊に放課後デイサービス



児童生徒を迎え入れる準備をする木村さん(手前)ら

など分野別の発達度合いを分析し、特性に応じた療育プログラムを策定する。80センチの大型タッチパネルを導入し、体を使ったゲームを仲間と楽しみながら、認知機能を高める体験ができるという。

定員は10人。職員7人のうち、5人が教員や保育士の資格を持つ。英語教育を取り入れ、木村さんの父で英会話教室を経営していた達彦さん(71)、母で元中学校の英語教諭重子さん(72)が指導する。

授業日は午後1時半～5時半、学校の休日は午前9時～午後5時。日曜と月曜が定休。小中学生と高校生が対象。

石巻市では、現在約150人の児童生徒が放課後等デイサービスに通う。発達障害は見た目には分かりにくく、集団生活が苦手な同級生の輪に溶け込めなかつたり、しつげが不十分と思われ保護者が悩んでいたケースがある。

小学校単元に設置されている石巻市の放課後児童クラブの場合、指導員1人に対する児童数は平均14人

(2月1日現在)。発達障害が疑われる児童がいても、恒常的な担い手不足で、専従の指導員を配置できる余裕がない。

木村さんは「習い事感覚で楽しみながら、コミュニケーション能力を伸ばしたい。児童と一緒に地域の催しに参加して、家族と地域のつなぎ役になりたい」と話す。

17、18の両日に見学体験会を開く。17日は午前10時～午後4時(予約制)、18日は午前10時～午後6時(予約不要)。連絡先はカズライフサポート0225(90)4648。

発達障害や知的障害がある児童生徒が放課後や長期休暇を過ごす施設の受け皿が新たにできた。石巻市の放課後等デイサービスとして12カ所目となる「カズライフサポート」が石巻市湊に開所した。一般の放課後児童クラブでは、発達障害が疑われる児童が集団生活になじめずにいるケースが少なくない。事業責任者の木村和広さん(38)は「少人数制でそれぞれの得意を伸ばし、不得意を補う支援ができる。育ちに悩みがあれば気軽に相談してほしい」と話している。

17、18日に見学体験会

施設は、2月1日に開所した。公益財団法人みやぎ産業振興機構の「県スタートアップ加速化支援事業」などの助成を受け、自宅敷地の建物を改装。木造平屋の約60平方メートルに、指導訓練室や静養室などを設けた。